

## 第6学年国語科学習指導案

日 時 平成18年10月3日(月)6校時  
児 童 男子8名 女子3名 計11名  
指導者 瀧本 俊一

### 1 単元名(教材名)

筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう(平和のとりでを築く/自分の考えを発信しよう)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

児童はこれまで、「読むこと」に関して、「生き物はつながりの中に」において、工夫された文章構成や文末表現、重要語句に着目しながら、筆者の考えを読み取り、それを受けて自分の考えをもつという学習を行なった。この学習を通して児童は、文章構成や文末表現、重要語句の用い方を手がかりに、筆者の考えをとらえることができるようになってきている。また、それをもとにして自分なりの考えをもち、意見を交流し合えるようになった。

「書くこと」に関しては、「ガイドブックを作ろう」において、修学旅行で見学してきた場所や内容について、見る人にとって分かり易いものになるように、紙面の構成や文章の表し方を考えて、ガイドブックを作る学習を行なった。この学習を通して、相手に伝えたいことを分かりやすく表すために、書く材料を集め、その中から必要なものを選択し、全体の構成を考えながら書くことができるようになってきている。

#### (2) 主たる指導事項

本単元における、「読むこと」に関する主たる指導事項は、「書かれている内容について、事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」である。これは、文章における事実の述べ方と感想、意見の述べ方の違いについて気付き、筆者がどのような事実に基づき、どのような考え方や論理を用いて筆者に語りかけているか考えながら読むことをねらいとしている。さらに、筆者の感想、意見をとらえることにとどまらずに、自分の立場から筆者の意見についてどのように考えるか、常に意識しながら読むことを通して主体的な読みにつなげていく必要がある。

そのためには、文章構成や文末表現、中心となる語句の用い方(表現の仕方)に着目するなど、言葉を手がかりにして筆者の意見や感想をとらえる能力と態度を身に付けることが大切である。また、読みを深めるために、話し合いなどを通してお互いに考えを交流する場を設定していくことも大切である。

#### (3) 指導に当たって

教材文「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって傷だらけになってしまった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが世界の遺産となった意味についての筆者の考えを丁寧に読み取ることによって、現在においても多くの人々が「平和」を希求していることを理解し、自分の考えを発信するという活動への動機を与えることにもつながる。

本教材は、「話題提示 - 説明 - まとめ」の大きく3つのまとまりで構成されている。筆自身が、語り手「わたし」として登場し、原爆ドームに対する思いを語りだすところから始まり、次に、

原爆ドームがたどった歴史と世界遺産への道のりが編年体で説明され、説明の最後に再び「わたし」が登場してその思いを結んでいる。それを受け、筆者が伝えたいことをまとめるという構成になっている。

文章構成や文末表現、中心となる語句の用い方は、筆者の考えを表しているものであり、これに着目させながら読み取りを深めていきたい。また、筆者の考えをとらえることにとどまらず、自分なりの考えをもたせながら、情報発信の活動を進めさせたい。

そこで、指導に当たっては、次のことに留意したい。

ア 単元名、リード文、題名から、学習の見通しをもたせるとともに、「平和のとりでを築く」を読むに当たって、筆者の考えを読み取り、それについて自分なりの意見をもつことを課題として意識させる。

イ 文章全体の流れの中で、文章構成の工夫や文末表現、中心となる語句の叙述の変化などに着目させることにより、筆者の考えを読み取らせる。

ウ 児童一人一人がもった考えを交流し合うことを積み重ね、より深い読み取りになるようにする。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

・筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったりしようとする。

#### (2) 読むこと

・筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読むことができる。

#### (3) 書くこと

・自分の考えを明確に表現するために、材料を選び直したり、効果的な文章の組立てを考えたりすることができる。

### 4 単元の評価規準（B）

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

・筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったりしようとしている。

#### (2) 読むこと

・筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読んでいる。

#### (3) 書くこと

・自分の考えを明確に表現するために、材料を選び直したり、効果的な文章の組立てを考えたりしている。

5 学習指導計画（14時間扱い）

段階	学習課題	学習活動（時間）	評価規準（B）
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を見通して、学習計画を立てよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦争や平和」について興味をもち、教科書の単元構成から学習の見通しをもつ。</li> <li>・初発の感想をもつ。（1時間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関 「平和のとりでを築く」の題名や内容について興味をもち、進んで読もうとしている。</li> </ul>
とらえ・ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおまかな文章構成をつかもう。</li> <li>・原爆ドームがたどった歴史と人々の思いを読み取ろう。</li> <li>・筆者が読者に何を伝えたいのかを読み取ろう。</li> <li>・筆者が伝えたいことをまとめ、話し合おう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題名と第1段落から読みの課題を共通認識し、全文を読み、まとまりに分けて、文章構成をとらえる。（1時間）</li> <li>・原爆ドームがたどった歴史と人々の思いをとらえる。（2時間）</li> <li>・筆者が読者に伝えたいことをまとめた段落（ ）から読み取る。（1時間：本時）</li> <li>・筆者が伝えなかったことをまとめ、交流し合う。（1時間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読 「平和のとりでを築く」の文章の概略をとらえている。</li> <li>読 重要語句や「原爆ドーム」を表す言葉の変化、保存を願う人々の広がりに着目しながら、読み取っている。</li> <li>読 文章構成や重要語句の叙述の変化から、筆者が読者に伝えたいことを読み取っている。</li> <li>読 筆者が伝えなかったことに対する自分なりの考えをもっている。</li> </ul>
つかう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦争や平和」について、何を誰に、どのような方法で伝えるか考えよう。</li> <li>・必要な材料を集め、効果的なものを選び出そう。</li> <li>・相手や内容を考えながら、資料を作ろう。</li> <li>・発表の練習をしよう。</li> <li>・発表会をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦争や平和」について、何を誰に、どのような方法で伝えるか考える。（1時間）</li> <li>・必要な材料を集めるとともに、取捨選択する。（3時間）</li> <li>・材料の提示の仕方を考える。</li> <li>・資料を作成する。（2時間）</li> <li>・書きまとめたものを推敲する。</li> <li>・発表の練習をする。（1時間）</li> <li>・発表会を行なう。</li> <li>・学習を振り返る。（1時間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関 自分が伝えたいことを進んで見つけようとしている。</li> <li>書 自分が伝えたいことに説得力をもたせるために必要な材料を集め、選択している。</li> <li>書 自分の意見が伝わるように、材料の提示の仕方や組立てを考えている。</li> <li>書 具体的事例と意見が読み手にも分かるように書き分けている。</li> <li>関 自分の学習に対して、達成感・満足感を感じていたり、学習した意味を見出してたりしている。</li> </ul>

## 6 本時の指導

### (1) 本時と仮説とのかかわり

説明的文章の学習指導において、子ども一人一人が自ら読みの視点をもつことができる学習活動を工夫し、その定着を図るための振り返りを取り入れていけば、「読むこと」の力が高まるであろう。

本時は、段落の文章をもとにして、文章全体の内容を振り返りながら、重要語句の意味や叙述の変化の意図を考えて、筆者が読者に伝えたいことを読み取る学習である。

筆者の伝えたいことを読み取る際には、内容を読み取るだけではなく、文章構成をとらえた上で、筆者がメッセージを届けるためにどのような工夫をしているのかといった表現方法にも着目していくことが大切である。

そこで、以下のような学習活動を設定した。

- ア 文章構成から、筆者が伝えたいことは最後のまとまりに述べられていることを確かめる。
- イ 文末表現、重要語句に着目することによって、筆者が伝えたいことは段落に端的に表されていることをつかむ。
- ウ 段落を中心に、重要語句の意味や叙述の変化の意図を考えることを通して、筆者が伝えたいことを叙述に即してとらえる。
- エ 児童の読み取りがより深いものになるよう、考えを交流し合う場を設定する。
- オ 筆者が伝えたいことをとらえるための読み取りの仕方を確かめるために、本時の読みの視点を振り返る。

### (2) ねらい

文章構成や重要語句の叙述の変化から、筆者が読者に伝えたいことを読み取ることができる。

(3) 展開

段階	学習活動	時間	指導上の留意点・評価
つかむ	<p>1 前時までの学習を想起し、学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">筆者は何を伝えたいのか考えよう。</p> <p>2 段落を音読する。(一斉読)</p>	8分	<p>・年表にまとめたものを振り返りながら、文章全体を概観させる。</p> <p style="border: 3px double black; padding: 2px;">・文章全体の構成から、筆者が伝えたいことが段落に書かれていることを確認した上で読ませる。</p>
ふかめる	<p>3 筆者が伝えたいことを読み取る。</p> <p>(1) 段落のどちらに重点を置いたらいいか話し合う。</p> <p style="border: 3px double black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名と同じ言葉</li> <li>・記念碑 世界の遺産</li> <li>・強く言い切っている</li> </ul> </p> <p>(2) 段落の叙述の内容を検討し、筆者の訴えをとらえる。</p> <p>(3) 筆者が伝えたいことを書きまとめる。</p> <p style="padding-left: 20px;">だれに、<u>どんな気持ち</u>をもって欲しいと言っているのだろう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">世界中の人々に、核兵器を使わない、戦争をしない、平和を守るという強い気持ちをもってほしい。</p>	30分	<p>・重点を置きたいという根拠になる言葉を探させる。</p> <p>評 段落がより重要だという根拠をとらえることができたか。</p> <p>・話合いの中で、段落には筆者の原爆ドームに対する考え方が「記念碑」という言葉に込められていることを確かめさせる。</p> <p style="border: 3px double black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦争は人の心の中で生まれる」、「心の中に平和のとりでを築く」、「見る人の心の中に平和のとりでを築くための世界の遺産」という叙述の意味するところを一人一人に考えさせる。</li> </ul> </p> <p>・2～3人で意見を交流し合う。</p> <p>評 文章構成や重要語句の叙述の変化から、筆者が読者に伝えたいことを読み取っている。</p> <p>・数名の児童のまとめたものを発表させ、他の児童にはそれに対する感想を求める。</p>
まとめる	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 読みの視点を振り返る。</p> <p>(2) まとめを音読をする。(一斉読)</p> <p>5 次時の学習について確認をする。</p>	7分	<p>・文章構成や全体の内容をふまえて、まとめの段落の重要な語句の叙述の変化に着目することによって、筆者が伝えたいことを読み取ることができたことを確かめる。</p> <p>・段落を読む。</p>

(4) 具体の評価規準

- A 根拠を明らかにして、筆者が伝えたいことを説明している。
- B 文章構成や重要語句の叙述の変化から、筆者が読者に伝えたいことを読み取っている。

努力を要すると判断された児童への具体的な手立て

友達の考えを聞きながら、筆者が伝えたいことをとらえさせるようにし、板書をもとにしながらまとめを書かせるようにする。

7 板書計画

平和のとりでを築く  
大牟田 稔

筆者は何を伝えたいのか考えよう。

痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな惨害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、いや、核兵器はむしろ必要だと、世界の人々に警告する記念碑なのである。

自分の利益ばかり考える  
相手を打ち負かそう

国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」と記されている。

世界中の人々

原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

世界中の人々に、核兵器を使わない、戦争をしない、平和を守るという強い気持ちをもってほしい。